

諏訪市ICT教育推進計画【概要版】

【諏訪市ICT教育基本目標】

子どもたち一人一人が、1人1台の学習者用端末と高速通信ネットワークの環境を効果的に活かして、「その子らしく学び、その子らしく育つ学び」を育む教育活動を充実させ、未来に生きる情報活用能力の育成を目指す。

計画的なICT環境整備

ICT活用を支援する体制整備

情報モラル・情報リテラシー教育の推進

個別最適な学びの推進

諏訪市独自の取り組みへのICT活用の推進

5つの基本方針



個別最適な学びの推進

- ・特別な支援を必要とする児童生徒を含む多様な子どもたちが、ICTを活用することにより、発達段階や学習状況に応じて各教科の学びを深め、「伝えあう力」を育むことができる学びを推進する。
- ・小中一貫7ヶ年を見通し、系統的に情報活用能力を育むことを目的とした、「情報活用能力系統表（仮称）」を作成し、学習活動への活用を図る。

ICT活用を支援する体制整備

- ・教員がICTを活用して「やりたい授業」を実現するために、また、児童生徒が自らの見方・考え方を積極的に表現できるよう、ICT支援員の配置や一元的な問い合わせ窓口の設置検討を行う。

情報モラル・情報リテラシー教育の推進

- ・児童生徒が正しく情報を選択・活用し、自らの学習や生活をより充実させることのできる力を育成する。
- ・保護者や地域の方々も対象とした外部講師による講演会の開催や情報発信を行い、家庭や地域と連携することで、児童生徒の適切なICT活用を支援する体制を構築する。

計画的なICT環境整備

- ・学校において積極的にICT活用を進められるよう、将来を見据えた計画的なICT環境整備を行う。
- ・大型提示装置やその他機器の整備を順次行う。また、パソコン教室やタブレット端末の今後のあり方について、早期に協議を開始する。

諏訪市独自の取り組みへのICT活用の推進

- ・「相手意識に立つものづくり科」における、プログラミングを含めたICT活用手法の検討・実施を推進する。
- ・「未来創造ゆめスクールプラン」による小中一貫教育を充実させるための遠隔教育を推進する。

上記の他、校務デジタル化の推進、学校と保護者間の連絡手段デジタル化の推進、日常的なタブレット端末持ち帰りの推進など、ICTを活用することによる児童生徒の学びの効率化や、教職員の業務改善を図ることができるよう、様々な取り組みを検討・実施する。